

【平成30年度 矢口東小学校授業改善推進プラン】

図画工作科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・発達段階や実態に応じた題材や指導内容を工夫したことで、子どもたちは意欲的に造形活動に取り組むことができました。
- ・導入を工夫したり個々に応じた言葉がけをししたりすることで、子どもたち個々の興味や関心、活動に対する意欲が高まった。
- ・鑑賞学習の題材や授業の展開を工夫することで、自分らしく作品を見ることの楽しさを子どもたちは実感することができた。
- ・材料・用具、作品などを丁寧に扱うことを継続的に指導し、互いの活動を尊重し安全に学習できる環境を保持できるようにする。

図画工作科における観点別の分析

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
観点別の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や題材に対する興味関心が高く、進んで関わり表現しようとしている。 ・自分らしく表現することの大切さを知り、主体的に活動しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく発想したり構想をたてたりして、主体的に表現しようとしている。 ・自分の思いや考えを表すことに苦手意識をもち、なかなか発想できない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体全体や手指を積極的に動かして表現しようとしている。 ・様々な用具や工具、描画材等の使い方を工夫し、自分の思いにそって表現方法を考えている。 ・基礎的な用具の扱いや、技法について、まだ習得が不十分な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や身のまわりのものに関心をもつことができている。 ・自分なりの見方で作品を見たり、作品について友だちと話し合ったりすることができる。

授業改善のポイント

1 身のまわりの材料に関心をもち、創造的な造形活動に対する意欲をもつことができるようにする。 →扱う材料の色や形・感触などのよさを知ったり、表現の可能性を感じたりすることができるよう題材や活動内容を工夫する。
2 想像力を働かせて構想をたてたり、自分らしく発想したりして、つくりだすことの楽しさを味わえるようにする。 →活動のイメージや見通しをもちやすいよう、導入や指導計画、場の設定を工夫する。
3 表現の意図に応じて、用具や材料を自分なりに工夫して使うことができるようにする。 →素材体験を豊富にし、用具や材料の基本的な扱い方や技術的な支援を行い、表現の幅を広げられるようにする。
4 身のまわりの造形物や作品のよさを感じ取り、自分らしく見ることの楽しさを味わえるようにする。 →ゲーム化したりするなどして、児童が楽しみながら作品を見ることができるようにする。

図画工作科の授業改善策

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・五感で感じ、体全体で表現する楽しさを味わえるよう題材を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想像したり発想したりすることに楽しさを感じられるよう身近な題材をとりあげる。 ・造形あそびを充実させ共に活動しながら発想する楽しさを味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぬる、切る、はる、ちぎる、折るなどの技能を身に付け、表現の可能性や楽しさを実感できるようにする。 ・材料経験を広げて、そのよさを認知できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形を見てその違いをくらべたり、色や形の特徴をとらえたりするなどの見立て遊びをし、見ることの楽しさを味わうようにする。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な描画材や用具・工具による表現方法を知らせ、表現に対する意欲がもてるようにする。 ・場の設定・導入を工夫し、興味・関心が高まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく想像したり発想したりする楽しさを実感できるよう、題材や授業の流れを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具、墨やパステルなどの描画材、カッターナイフ、小刀、のこぎり、げんのうなどの工具等を使い、様々な表現方法や技能を身につけて表現の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品について話したり、友だちの作品のよさを見つけて発言したりするなど、活発な言語活動を通して作品の見方を深めていく。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな材料や表現技法に取り組み、関心・意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチなどで自分の発想や構想を練る時間を大切にする。 ・<u>形や色、材料の特徴や構成の美しさなどを</u>感じ、<u>用途などを考えながら、表し方を構想して表せるようにする。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・金属や木材などの素材や電動工具などの基本的な扱い方を身につけるようにする。 ・適切な材料や表現方法・技術を提案し、表現の自由度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループによる鑑賞活動を充実させて、作品を見ることの楽しさや作品のよさを味わえるようにする。